

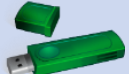



- 2018年4月申し込み分より、クライアント証明書の発行費用が以下のとおり改訂されます。
 なお、広域機関と三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社（旧社名：ジャパンネット株式会社）にて覚書を締結しており、仕様・金額は変更できません。

		ダウンロード	CD-R	CD-R (まとめ書込み)	USBメモリ	USBトークン
証明書有効期間		2年	2年	2年	2年	2年
説明		「ID通知メール」に記載された情報に従い弊社電子証明書配送システムからオンラインで取得する	データ書き込みができるコンパクトディスク（CD1枚に1証明書のみ書込み）	データ書き込みができるコンパクトディスク（CD1枚に複数の証明書をまとめて書込み）	USBコネクタに接続できるフラッシュメモリ内蔵の記憶デバイス	USBコネクタにICチップを内蔵したデバイス ※端末にコピー不可
使い方		取得したクライアント証明書はクライアントにインストールして利用可能	CD-R内のクライアント証明書はクライアントにインストールして利用可能	CD-R内のクライアント証明書はクライアントにインストールして利用可能	USBメモリ内のクライアント証明書はクライアントにインストールして利用可能	USBトークンを端末のUSBコネクタに差し込んで利用 予め端末にドライバのインストールが必要
価格 (税抜)	現価格 ※1	5,200円/証明書	5,300円/枚	4証明書以下 ¥5,300/証明書 5証明書以上 ¥5,100/証明書	6,400円/個	9,800円/個
	新価格 ※2	5,000円/証明書	5,100円/枚	4証明書以下 ¥5,100/証明書 5証明書以上 ¥4,900/証明書	6,200円/個	9,600円/個
クライアント証明書発行依頼書上の記載		DL	CD	CM	UM	UT
						

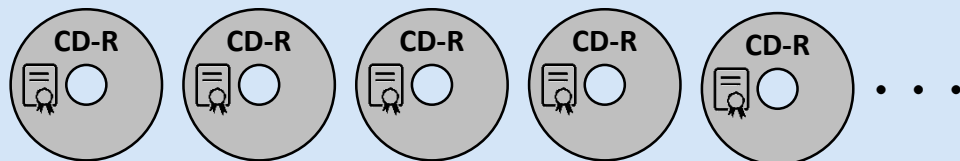
ePass2003
 (暗号鍵による処理をトークン内部ですべて行なうため、暗号鍵は常にトークン内部にあって、外部に一切出されることがないため、極めて高い安全性を持つデバイス)

- クライアント証明書を購入する際に、複数のクライアント証明書を1枚のCD媒体に格納する提供方法（CD-Rまとめ書込み）が2017年10月より新たに追加されます。
- 5証明書以上のクライアント証明書をCD-Rまとめ書込みする場合、1証明書につき200円の割引が適用されます。CD-Rまとめ書込みで申込む場合は、『電力広域的運営推進機関 クライアント証明書 依頼書（新規発行）※』の媒体種別で「CM:CD-R（まとめ書込み）」を選択することが必要です。
 ※EPOCH証明書依頼書（発行）V3.2_yyyyMMdd_xx.xlsx 当フォーマットを取得する場合は三菱電機インフォメーションネットワークへお問い合わせください。

提供媒体CD-Rで複数IDを一括申し込みする場合

媒体種別：CD-R

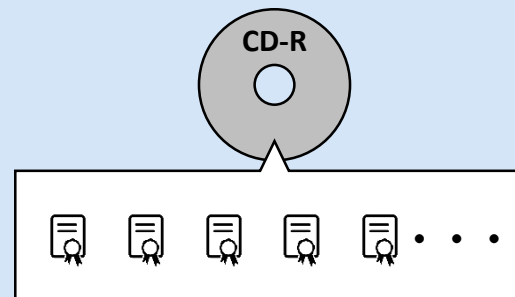
複数CD（CD1枚に1証明書を書込み）



- 5証明書をCD5枚で提供（CD1枚に1証明書）の場合
 $\text{¥}5,300 \times 5 \text{証明書} = \text{¥}26,500$
 （割引適用されません。）

媒体種別：CD-R（まとめ書込み）
 新たに追加された提供オプション

CD1枚（CD1枚に複数証明書を一括書込み）



- CD1枚に4証明書一括格納の場合
 $\text{¥}5,300 \times 4 \text{証明書} = \text{¥}21,200$ （税抜）
 （5証明書に満たないため、割引適用されません。）
- CD1枚に5証明書一括格納の場合
 $\text{¥}5,100 \times 5 \text{証明書} = \text{¥}25,500$ （税抜）
 （CD-R一括書込み割引が適用されます。）

- 事業者にて証明書書込みツールを利用することで、有効期限切れのUSBトークンに対して新たなクライアント証明書を格納し、再利用することが可能です。

- USBトークンの再利用に際してご注意いただきたい事項
 - 新たなクライアント証明書の購入が必要です。
USBトークンの再利用に当たっては、ダウンロード、CD-R、USBメモリのいずれかの方法で新たな証明書を購入することが必要です。
 - USBトークンランタイムパッケージをバージョンアップすることが必要です。
詳細は、以下に記載するマニュアルに記載しています。
 - USBトークンの再利用は各事業者の責任で行ってください。
再利用するUSBトークンに不具合が起きたい場合の補償はありません。別のUSBトークンを再利用するか、再度USBトークン媒体のクライアント証明書を購入することが必要です。

- USBトークンの再利用について
三菱電機インフォメーションネットワーク(株)の以下のホームページをご参照ください。
<https://www.eppcert.jp/occto/renewal.html>